

～ABC検診～



平成 27 年 4 月より開始 **単独検査 6500円(税抜)**

他健診併用 オプション 4,000円(税抜)

ABC 検診とは、採血にてヘリコバクターピロリ IgG 抗体 (Hp 抗体) 検査でピロリ菌感染の有無を、ペプシノゲン (PG) 検査で胃粘膜萎縮度を調べ、その結果を組み合わせることで胃がんのリスクを A, B, C, D の 4 群に分類して評価する検診です。

定期健康診断で **胃 X 線検査未受診の若年層の方へお薦め**です！！

【ヘリコバクターピロリ (H. ピロリ) 抗体検査】

胃が H. ピロリ菌に感染していないか調べる検査です。

H. ピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気の引きがねになると考えられています。

【ペプシノゲン検査】

胃粘膜の老化 (萎縮) の状態を調べる検査で、胃がん検診にも応用されています。

萎縮が進んだ胃は、胃がんになりやすいといわれています。

【注意事項】

以下の場合には正しい結果が得られない可能性がありますので、この検査は不適です。

- 明らかな上部消化器症状のある方
- 食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方
- 胃酸を抑える薬を服用中の方
- 胃切除をされた方
- 腎不全の方 (目安として、クレアチニン 3mg / dL 以上)
- ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を受けた方